



# ラックマウント サーバハードウェア管理

- [ラックマウント サーバ管理 \(2 ページ\)](#)
- [ラックエンクロージャ サーバ管理 \(2 ページ\)](#)
- [ラックマウント サーバの削除および解放に関するガイドライン \(3 ページ\)](#)
- [予期しないサーバ電力変更を回避するための推奨事項 \(4 ページ\)](#)
- [ラックマウント サーバのブート \(5 ページ\)](#)
- [サービス プロファイルからのラックマウント サーバのブート \(6 ページ\)](#)
- [ラックマウント サーバのブート順序の決定 \(6 ページ\)](#)
- [ラックマウント サーバのシャットダウン \(7 ページ\)](#)
- [サービス プロファイルからのサーバのシャットダウン \(8 ページ\)](#)
- [ラックマウント サーバのリセット \(8 ページ\)](#)
- [ラックマウント サーバの出荷時のデフォルト設定へのリセット \(9 ページ\)](#)
- [永続メモリ スクラブ \(10 ページ\)](#)
- [ラックマウント サーバの再確認 \(11 ページ\)](#)
- [ラックマウント サーバからのインバンド設定の削除 \(12 ページ\)](#)
- [ラックマウント サーバの解放 \(12 ページ\)](#)
- [ラックマウント サーバの再稼動 \(13 ページ\)](#)
- [ラックマウント サーバの番号付け直し \(13 ページ\)](#)
- [存在しないラックマウント サーバの設定データベースからの削除 \(14 ページ\)](#)
- [ラックマウント サーバのロケータ LED の切り替え, \[on page 15\]\(#\)](#)
- [ラックマウント サーバのローカルディスク ロケータ LED のオン/オフ切り替え \(15 ページ\)](#)
- [ラックマウント サーバの CMOS のリセット \(16 ページ\)](#)
- [ラックマウント サーバの CIMC のリセット \(17 ページ\)](#)
- [ラックマウント サーバの TPM のクリア, \[on page 17\]\(#\)](#)
- [ラックマウント サーバからの NMI の発行 \(18 ページ\)](#)
- [ラックマウント サーバのヘルス イベントの表示 \(19 ページ\)](#)
- [ラックマウント サーバの POST 結果の表示 \(20 ページ\)](#)
- [Power Transition Log の表示 \(21 ページ\)](#)
- [Cisco UCS C125 M5 サーバスロット ID の表示 \(21 ページ\)](#)

## ラックマウント サーバ管理

Cisco UCS Manager を使用して、Cisco UCS ドメインに統合されているすべてのラックマウント サーバを管理およびモニターすることができます。電力制限を除くすべての管理およびモニターリング機能がラックマウント サーバでサポートされます。電源状態の変更など一部のラックマウント サーバ管理タスクは、サーバとサービス プロファイルの両方から行うことができます。残りの管理タスクは、サーバ上でのみ実行できます。

Cisco UCS Manager は、検出された各ラックマウント サーバに関する情報、エラー、および障害を提供します。



**ヒント** サポートされる Cisco UCS ラックマウント サーバと Cisco UCS Manager との統合方法については、ご使用の Cisco UCS Manager のリリースに応じた Cisco UCS C シリーズ サーバ統合ガイドまたは Cisco UCS S シリーズ サーバ統合ガイドを参照してください。

## ラックエンクロージャ サーバ管理

このガイドで特に明記されていない限り、リリース4.0(1a)以降のCisco UCS ManagerではCisco UCS C125 M5 サーバの既存の機能すべてがサポートされます。

Cisco UCS C125 M5 サーバは Cisco UCS C4200 シリーズ ラック サーバ シャーシに収容されています。各 Cisco UCS C4200 シリーズ ラック サーバ シャーシは、2 - 4個の Cisco UCS C125 M5 サーバノードをサポートします。Cisco UCS C125 M5 サーバノードを管理するため、Cisco UCS Managerは以下をサポートします。

- **ラック :**

Cisco UCS Manager GUI パス -**[Equipment]** > **[Rack-Mounts]** > **[Enclosures]**

示Cisco UCS Managerにより管理されているすべての Cisco UCS C4200 シリーズラック サーバ シャーシのリストを表示します。

- **[Rack Enclosure]rack\_enclosure\_number:**

Cisco UCS Manager GUI パス : **Equipment** > **Rack-Mounts** > **Enclosures** > **Rack Enclosure rack\_enclosure\_number**

各**[Rack Enclosure]**は、1 個の Cisco UCS C4200 シリーズラック サーバ シャーシであり、最大 4つのCisco UCS C125 M5 サーバノード、4つのファンユニット、2つの PSU を含むことができます。サーバのスロット ID については、[Cisco UCS C125 M5 サーバスロット ID の表示 \(21 ページ\)](#) を参照してください。

Cisco UCS C125 M5 サーバは、**[Rack Enclosure]rack\_enclosure\_number**から他のラック サーバと同じ方法で管理できます。



- (注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクト および Fabric Interconnect 6300 シリーズをサポートします。

## ラックマウントサーバーの削除および解放に関するガイドライン

Cisco UCS Manager を使ってラックマウント サーバーを削除するか解放するかを決定する場合は、次のガイドラインを考慮してください。

### ラックマウントサーバーの解放

解放は、ラックマウントサーバーが物理的に存在し接続されているが、一時的に設定から削除する必要がある場合に実行します。解放されたラックマウントサーバーは最終的に再稼働することが予測されるので、サーバーの情報部分は、将来の使用に備え、Cisco UCS Manager によって保持されます。

### ラックマウントサーバーの削除

削除は、ラックマウントサーバーをファブリック エクステンダから接続解除して、システムから物理的に削除する（取り外す）場合に実行します。ラックマウントサーバーが物理的に存在し、ファブリック エクステンダに接続しているときは、Cisco UCS Manager から削除できません。ラックマウントサーバーの接続を解除した後、その設定を Cisco UCS Manager から削除できます。

削除時、管理インターフェイスは接続解除され、すべてのエントリがデータベースから削除されます。サーバーは検出時に割り当てられたすべてのサーバープールから自動的に削除されます。



- (注) 自動的に削除されるのは、検出時に自動的にサーバープールに追加されたサーバーのみです。サーバープールに手動で追加したサーバーは手動で削除する必要があります。

削除したラックマウントサーバーを再び設定に追加する場合は、再接続して再度検出する必要があります。Cisco UCS Manager に再導入したサーバーは新規サーバーとみなされ、詳細なディスカバリ プロセスが実施されます。このため、Cisco UCS Manager によって以前とは異なる新しい ID がサーバーに割り当てられることがあります。

## 予期しないサーバ電力変更を回避するための推奨事項

サーバがサービスプロファイルに関連付けられていない場合は、サーバの物理的な [Power] または [Reset] ボタンなど、サーバの電源状態を変更するために使用可能な手段をすべて使用できます。

サーバがサービスプロファイルに関連付けられているか、サービスプロファイルに割り当てられている場合は、サーバの電源状態の変更は次の方法でのみ行う必要があります。

- Cisco UCS Manager GUI で、サーバに関連付けられたサーバまたはサービスプロファイルの [General] タブに移動し、[Actions] 領域で [Boot Server] または [Shutdown Server] を選択します。
- Cisco UCS Manager CLI で、サーバ、またはサーバに関連付けられたサービスプロファイルに対して **power up** または **power down** コマンドを使用します。



**重要** 電源がオフになっている関連サーバには、次のオプションのいずれも使用しないでください。

- GUI の [Reset]
- **cycle cycle-immediate** または CLI の **reset hard-reset-immediate**
- サーバの物理的な [Power] または [Reset] ボタン

現在電源がオフになっているサーバに対して、リセットまたはサイクルを実施するか、サーバの物理的な [Power] ボタンを使用すると、サーバの実際の電力状態がサービスプロファイルで必要とされる電源状態の設定と同期しなくなる可能性があります。サーバと Cisco UCS Manager 間の通信が中断したり、サービスプロファイルの設定が変更されると、Cisco UCS Manager によって、必要とされる電源の状態がサービスプロファイルからサーバに適用される場合があります、この結果予期しない電力変化が発生する可能性があります。

電源の同期に関する問題は、次に示すように予期しないサーバの再起動につながる可能性があります。

サービスプロファイルで必要とされる電源状態	現在のサーバの電源状態	通信が中断された後のサーバの電源状態
アップ	電源オフ	[電源オン (Powered On) ]

サービス プロファイルで必要とされる電源状態	現在のサーバの電源状態	通信が中断された後のサーバの電源状態
ダウン	電源オン	電源オン  (注) 実行中のサーバは、サービスプロファイルに必要とされる電源状態に関係なくシャットダウンされません。

## ラックマウント サーバのブート

[Actions] 領域で [Boot Server] リンクがグレー表示されている場合は、まず、サーバをシャットダウンする必要があります。

### 手順

**ステップ 1** [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。

**ステップ 2** [機器] > [ラックマウント] > [サーバ] を展開します。

(注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)] > [ラックマウント (Rack Mounts)] > [エンクロージャ (Enclosures)] > [ラック エンクロージャ *rack\_enclosure\_number* (Rack Enclosure rack\_enclosure\_number)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。

**ステップ 3** ブートするサーバを選択します。

**ステップ 4** [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

**ステップ 5** [Actions] 領域の [Boot Server] をクリックします。

**ステップ 6** 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい] をクリックします。

サーバがブートされると、[General] タブの [Overall Status] フィールドに [OK] ステータスが表示されます。

# サービスプロファイルからのラックマウントサーバのブート

## 手順

ステップ1 [ナビゲーション]ペインで、[サーバ]をクリックします。

ステップ2 [サーバ]>[サービスプロファイル]を展開します。

ステップ3 サービスプロファイルを作成する組織のノードを展開します。

システムにマルチテナント機能が備えられていない場合は、[root] ノードを展開します。

ステップ4 関連付けられたサーバをブートする必要があるサービスプロファイルを選択します。

ステップ5 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ6 [Actions] 領域の [Boot Server] をクリックします。

ステップ7 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい]をクリックします。

ステップ8 [Boot Server] ダイアログボックスで [OK] をクリックします。

サーバがブートした後は、[General] タブの [Overall Status] フィールドに [ok] ステータスまたは [up] ステータスが表示されます。

## ラックマウントサーバのブート順序の決定



ヒント サーバに関連付けられているサービスプロファイルの [General] タブからもブート順序タブを表示できます。

## 手順

ステップ1 [ナビゲーション]ペインで、[機器]をクリックします。

ステップ2 [機器]>[ラックマウント]>[サーバ]を展開します。

(注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)]>[ラックマウント (Rack Mounts)]>[エンクロージャ (Enclosures)]>[ラック エンクロージャ rack\_enclosure\_number (Rack Enclosure rack\_enclosure\_number)]>[サーバ (Servers)] の順に展開します。

ステップ3 ブート順序を決定するサーバをクリックします。

- ステップ 4** [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ 5** [Boot Order Details] 領域が展開されていない場合は、見出しの右側の [Expand] アイコンをクリックします。
- ステップ 6** サーバに割り当てられているブート順序を表示するには、[Configured Boot Order] タブをクリックします。
- ステップ 7** 物理サーバ構成内のさまざまなデバイスから何がブートされるかを表示するには、[Actual Boot Order] タブをクリックします。
- (注) [Actual Boot Order] では、[Internal EFI Shell] は常にブート順リストの最下部に表示されます。

---

## ラックマウント サーバのシャットダウン

この手順を使用して、インストールされているオペレーティングシステムとともにサーバをシャットダウンした場合、Cisco UCS Manager により、この OS のグレースフルシャットダウンシーケンスがトリガーされます。

[Actions] 領域の [Shutdown server] リンクがグレー表示されている場合、そのサーバは動作していません。

### 手順

---

- ステップ 1** [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。
- ステップ 2** [機器] > [ラックマウント] > [サーバ] を展開します。
- (注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)] > [ラックマウント (Rack Mounts)] > [エンクロージャ (Enclosures)] > [ラック エンクロージャ *rack\_enclosure\_number* (Rack Enclosure rack\_enclosure\_number)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。
- ステップ 3** シャットダウンするサーバを選択します。
- ステップ 4** [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ 5** [Actions] 領域で、[Shutdown Server] をクリックします。
- ステップ 6** 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい] をクリックします。

---

サーバが正常にシャットダウンされると、[General] タブの [Overall Status] フィールドに電源オフ状態が表示されます。

## サービス プロファイルからのサーバのシャットダウン

この手順を使用して、インストールされているオペレーティングシステムとともにサーバをシャットダウンした場合、Cisco UCS Manager により、この OS のグレースフルシャットダウンシーケンスがトリガーされます。

[Actions] 領域の [Shutdown Server] リンクがグレー表示されている場合、そのサーバは動作していません。

### 手順

**ステップ 1** [ナビゲーション] ペインで、[サーバ] をクリックします。

**ステップ 2** [サーバ] > [サービスプロファイル] を展開します。

**ステップ 3** サービスプロファイルを作成する組織のノードを展開します。

システムにマルチテナント機能が備えられていない場合は、[root] ノードを展開します。

**ステップ 4** 関連付けられたサーバをシャットダウンする必要があるサービスプロファイルを選択します。

**ステップ 5** [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

**ステップ 6** [Actions] 領域で、[Shutdown Server] をクリックします。

**ステップ 7** 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい] をクリックします。

サーバが正常にシャットダウンされると、[General] タブの [Overall Status] フィールドに [down] ステータスまたは [power-off] ステータスが表示されます。

## ラックマウントサーバのリセット

サーバをリセットすると、Cisco UCS Manager により、リセットライン上にパルスが送信されます。オペレーティングシステムのグレースフルシャットダウンを選択することができます。オペレーティングシステムでグレースフルシャットダウンがサポートされていない場合、サーバ電源の再投入が行われます。サーバをリセットする前に Cisco UCS Manager にすべての管理操作を完了させるオプションの場合、それらの操作がサーバのリセット前に完了する保証はありません。



(注) 電源切断状態からサーバをブートする場合は、[リセット (Reset)] を使用しないでください。

この手順を使用して電源投入を続けると、サーバの望ましい電源状態が実際の電源状態と同期しなくなり、サーバが後で予期せずシャットダウンすることがあります。選択したサーバを電源切断状態から安全にリブートするには、[キャンセル (Cancel)] をクリックし、[ブートサーバ (Boot Server)] アクションを選択します。



## 手順

**ステップ 1** [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。

**ステップ 2** [機器] > [ラックマウント] > [サーバ] を展開します。

(注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)] > [ラックマウント (Rack Mounts)] > [エンクロージャ (Enclosures)] > [ラック エンクロージャ *rack\_enclosure\_number* (Rack Enclosure *rack\_enclosure\_number*)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。

**ステップ 3** リセットするサーバを選択します。

**ステップ 4** [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

**ステップ 5** [Actions] 領域で [Reset] をクリックします。

**ステップ 6** [Reset Server] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

- [Power Cycle] オプションをクリックします。
- (任意) このサーバの保留中の管理操作を Cisco UCS Manager によってすべて完了させる場合は、チェックボックスをオンにします。
- [OK] をクリックします。

リセットが完了するまでに数分かかる場合があります。サーバがリセットされると、[General] タブの [Overall Status] フィールドに OK ステータスが表示されます。

# ラックマウントサーバの出荷時のデフォルト設定へのリセット

ラックマウントサーバを出荷時の設定にリセットできるようになりました。デフォルトでは、出荷時へのリセット操作は、ストレージドライブおよび flexflash ドライブなどのストレージに影響しません。これはデータの損失を防止するためです。ただし、これらのデバイスを既知の状態にリセットすることもできます。



**重要** ストレージデバイスをリセットすると、データが失われる可能性があります。

サーバを出荷時のデフォルト設定にリセットするには、次の手順を実行します。

## 手順

**ステップ 1** [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。

**ステップ 2** [機器] > [ラックマウント] > [サーバ] を展開します。

(注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)] > [ラックマウント (Rack Mounts)] > [エンクロージャ (Enclosures)] > [ラック エンクロージャ rack\_enclosure\_number (Rack Enclosure rack\_enclosure\_number)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。

**ステップ 3** 出荷時のデフォルト設定にリセットするサーバを選択します。

**ステップ 4** [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

**ステップ 5** [Actions] 領域の [Server Maintenance] をクリックします。

**ステップ 6** [Maintenance] ダイアログボックスで、[Reset to Factory Default] をクリックし、[OK] をクリックします。

**ステップ 7** 表示される [Maintenance Server] ダイアログ ボックスから適切なオプションを選択します。

- すべてのストレージを削除するには、[Scrub Storage] チェックボックスを選択します。
- すべてのストレージを削除してからすべてのディスクを初期状態に戻すには、[Create Initial Volumes] チェックボックスを選択します。

[Scrub Storage] チェックボックスを選択した場合のみ、このチェックボックスを選択できます。JBOD をサポートするサーバの場合、ディスクは JBOD 状態になります。JBOD をサポートしないサーバの場合、各ディスクはディスク内のすべての領域を占有する単一 R0 ボリュームで初期化されます。

**重要** ストレージプロファイルを使用するには、[Create Initial Volumes] チェックボックスを選択しないでください。ストレージプロファイルを使用しているときに初期ボリュームを作成すると、設定エラーが発生する可能性があります。

- すべての flexflash ストレージを削除するには、[Scrub FlexFlash] チェックボックスを選択します。
- Persistent Memory ストレージをすべて削除するには、[永続メモリスクラブ (Persistent Memory Scrub)] チェックボックスをオンにします。

Cisco UCS Manager サーバを出荷時のデフォルト設定にリセットします。

## 永続メモリスクラブ

永続メモリスクラブを使用すると、サーバの永続メモリ モジュールから永続メモリの設定とデータを削除することができます。

Cisco IMC では、永続メモリ モジュールを工場出荷時の初期状態にリセットすることにより、永続メモリをスクラブできます。

Cisco UCS Manager では、次の方法のいずれかを使用して永続メモリをスクラブできます。

- 永続メモリスクラブ オプション設定が [yes (はい)] に設定されたサービス プロファイルおよびスクラブ ポリシーとの関連付け解除

- 永続メモリ スクラブ オプションが [yes (はい)] に設定されたサーバでの **工場出荷時のデフォルト動作へのリセット** の実行
- ゴールの削除

永続的メモリ スクラブが完了すると、次のことが発生します。

- すべての永続メモリ データが消去されます。
- 永続メモリの設定はが工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。  
B シリーズおよび C シリーズ サーバの場合、100% のメモリ モードが適用されます。S シリーズ サーバの場合、0% のメモリ モードとアプリケーションのダイレクト非インターリーブ タイプが適用されます。
- 永続メモリ モジュールのセキュリティが無効になっています。

## ラックマウント サーバの再確認

サーバ、およびそのサーバのエンドポイントすべてを再検出するには、次の手順を実行します。たとえば、サーバがディスクバリ状態など、予期していなかった状態から抜け出せなくなっている場合に、この手順を使用します。

### 手順

**ステップ 1** [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。

**ステップ 2** [機器] > [ラックマウント] > [サーバ] を展開します。

(注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)] > [ラックマウント (Rack Mounts)] > [エンクロージャ (Enclosures)] > [ラック エンクロージャ *rack\_enclosure\_number* (Rack Enclosure rack\_enclosure\_number)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。

**ステップ 3** 再確認するサーバを選択します。

**ステップ 4** [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

**ステップ 5** [Actions] 領域の [Server Maintenance] をクリックします。

**ステップ 6** [Maintenance] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

- a) [Re-acknowledge] をクリックします。
- b) [OK] をクリックします。

Cisco UCS Manager サーバを切断し、その後、サーバとシステム内の 1 つまたは複数のファブリックインターコネクタとの接続を確立します。確認が終了するまでに数分かかる場合があります。

まず、サーバが認識されると、[General] タブの [Overall Status] フィールドに [OK] ステータスが表示されます。

## ラックマウントサーバからのインバンド設定の削除

この手順では、ラックサーバからインバンド管理 IP アドレスの設定を削除します。このアクションがグレー表示されている場合、インバンド設定は設定されていません。

### 手順

- ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[サーバ] をクリックします。
- ステップ 2 [機器 (Equipment)] > [ラックマウント (Rack Mounts)] > [サーバ (Servers)] > [サーバ番号 (Server Number)] の順に展開します。
- ステップ 3 [作業 (Work)] 領域の [インベントリ (Inventory)] タブをクリックします。
- ステップ 4 [CIMC] サブタブをクリックします。
- ステップ 5 [アクション (Actions)] 領域で、[インバンド構成の削除 (Delete Inband Configuration)] をクリックします。
- ステップ 6 [削除 (Delete)] 確認ダイアログボックスで [はい (Yes)] をクリックします。

サーバのインバンド構成が削除されます。

- (注) Cisco UCS Manager でインバンドサービスプロファイルがデフォルト VLAN とプール名で設定されている場合、ここでインバンド設定を削除してから約 1 分後に、サーバ CIMC が自動的にインバンドプロファイルからインバンド設定を取得します。

## ラックマウントサーバの解放

### 手順

- ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。
- ステップ 2 [機器] > [ラックマウント] > [サーバ] を展開します。

- (注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)] > [ラックマウント (Rack Mounts)] > [エンクロージャ (Enclosures)] > [ラック エンクロージャ rack\_enclosure\_number (Rack Enclosure rack\_enclosure\_number)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。

- ステップ3 稼働を停止するサーバを選択します。
- ステップ4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ5 [Actions] 領域の [Server Maintenance] をクリックします。
- ステップ6 [Maintenance] ダイアログボックスで、[Decommission] をクリックし、[OK] をクリックします。  
サーバが Cisco UCS構成から削除されます。

(注) ラック エンクロージャ から最後のCisco UCS C125 M5 サーバを使用停止にする場合、Cisco UCS Managerは [navigation] ペインからすべての **Rack Enclosure** *rack\_enclosure\_number* エントリを削除します。

---

## ラックマウント サーバの再稼動

### 手順

---

- ステップ1 [ナビゲーション]ペインで、[機器]をクリックします。
- ステップ2 [Equipment] で、[Rack-Mounts] ノードを選択します。
- ステップ3 [Work] ペインで [Decommissioned] タブをクリックします。
- ステップ4 再稼動する各ラックマウント サーバーの行で、次の手順を実行します。
- [Recommission] カラムでチェックボックスをオンにします。
  - [Save Changes] をクリックします
- ステップ5 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい]をクリックします。
- ステップ6 (任意) サーバの再稼動と検出の進行状況を、そのサーバの [FSM] タブでモニタします。
- 

## ラックマウント サーバーの番号付け直し

### 始める前に

サーバ間でIDを交換する場合は、まず両方のサーバを解放し、サーバ解放FSMが完了するのを待ってから、番号の再設定手順に進みます。

### 手順

---

- ステップ1 [ナビゲーション]ペインで、[機器]をクリックします。
- ステップ2 [機器]>[ラックマウント]>[サーバ]を展開します。

(注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)] > [ラックマウント (Rack Mounts)] > [エンクロージャ (Enclosures)] > [ラック エンクロージャ rack\_enclosure\_number (Rack Enclosure rack\_enclosure\_number)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。

**ステップ 3** [Servers] ノードを展開し、以下が含まれていないことを確認します。

- 番号を付け直すラックマウント サーバ
- 使用する番号を持つラックマウント サーバ

これらのサーバのいずれかが [Servers] ノードに表示されている場合は、それらのサーバを解放します。続行前に、解放 FSM が完了し、サーバがノードにリストされなくなるまで待機する必要があります。これには数分かかる場合があります。

**ステップ 4** 番号を付け直すラックマウント サーバを選択します。

**ステップ 5** [Equipment] タブで [Rack-Mounts] ノードをクリックします。

**ステップ 6** [Work] ペインで [Decommissioned] タブをクリックします。

**ステップ 7** 番号を付け直す各ラックマウントサーバの行で、次の手順を実行します。

- a) [ID] フィールド内でダブルクリックし、ラックマウントサーバに割り当てる新しい番号を入力します。
- b) [Recommission] カラムでチェックボックスをオンにします。
- c) [Save Changes] をクリックします

**ステップ 8** 確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい] をクリックします。

**ステップ 9** (任意) サーバの再稼動と検出の進行状況を、そのサーバの [FSM] タブでモニタします。

## 存在しないラックマウントサーバの設定データベースからの削除

サーバを解放せずにサーバハードウェアを物理的に外した場合は、次の手順を実行します。サーバが物理的に存在する場合はこの手順を実行できません。

### 手順

**ステップ 1** [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。

**ステップ 2** [機器] > [ラックマウント] > [サーバ] を展開します。

(注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)] > [ラックマウント (Rack Mounts)] > [エンクロージャ (Enclosures)] > [ラック エンクロージャ rack\_enclosure\_number (Rack Enclosure rack\_enclosure\_number)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。

ステップ3 設定データベースから削除するサーバを選択します。

ステップ4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ5 [Actions] 領域で、[Server Maintenance] をクリックします。

ステップ6 [Maintenance] ダイアログボックスで、[Remove] をクリックし、[OK] をクリックします。

Cisco UCS Manager は、設定データベースからそのサーバに関するすべてのデータを削除します。サーバスロットは、新しいサーバハードウェアの挿入に使用できます。

---

## ラックマウント サーバのロケータ LED の切り替え

### Procedure

---

ステップ1 [ナビゲーション]ペインで、[機器]をクリックします。

ステップ2 [機器]>[ラックマウント]>[サーバ]を展開します。

**Note** Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)]>[ラックマウント (Rack Mounts)]>[エンクロージャ (Enclosures)]>[ラック エンクロージャ *rack\_enclosure\_number* (Rack Enclosure *rack\_enclosure\_number*)]>[サーバ (Servers)] の順に展開します。

ステップ3 ロケータ LED のオン/オフを切り替えるサーバを選択します。

ステップ4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ5 [Actions] 領域で、次のいずれかをクリックします。

- [Turn on Locator LED]
- Turn off Locator LED

---

## ラックマウントサーバのローカルディスクロケータ LED のオン/オフ切り替え

### 始める前に

- ディスクが配置されるサーバの電源が投入されていることを確認します。サーバがオフの場合、ローカルディスクのロケータ LED のオン/オフを切り替えることはできません。

## 手順

ステップ1 [ナビゲーション]ペインで、[機器]をクリックします。

ステップ2 [機器]>[ラックマウント]>[サーバ]を展開します。

(注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)]>[ラックマウント (Rack Mounts)]>[エンクロージャ (Enclosures)]>[ラック エンクロージャ *rack\_enclosure\_number* (Rack Enclosure *rack\_enclosure\_number*)]>[サーバ (Servers)] の順に展開します。

ステップ3 ローカル ディスクのロケータ LED のオン/オフを切り替えるサーバを選択します。

ステップ4 [Work] ペインで、[Inventory]>[Storage]>[Disks] タブの順にクリックします。

ストレージコントローラ インベントリが表示されます。

ステップ5 ディスクをクリックします。

ディスクの詳細が表示されます。

ステップ6 [Details] 領域で、[Toggle Locator LED] をクリックします。

[Locator LED] の状態が [On] の場合は、[Off] に切り替わります。[Locator LED] の状態が [Off] の場合は、[On] に切り替わります。

ステップ7 [Save Changes] をクリックします。

## ラックマウント サーバの CMOS のリセット

サーバのトラブルシューティングに CMOS のリセットが必要になることがあります。CMOS のリセットは、通常のサーバメンテナンスには含まれません。

## 手順

ステップ1 [ナビゲーション]ペインで、[機器]をクリックします。

ステップ2 [機器]>[ラックマウント]>[サーバ]を展開します。

(注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)]>[ラックマウント (Rack Mounts)]>[エンクロージャ (Enclosures)]>[ラック エンクロージャ *rack\_enclosure\_number* (Rack Enclosure *rack\_enclosure\_number*)]>[サーバ (Servers)] の順に展開します。

ステップ3 CMOS をリセットするサーバを選択します。

ステップ4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ5 [Actions] 領域の [Recover Server] をクリックします。



ステップ 6 [Recover Server] ダイアログボックスで、[Reset CMOS] をクリックし、[OK] をクリックします。

## ラックマウント サーバの CIMC のリセット

ファームウェアで、サーバのトラブルシューティングに CIMC のリセットが必要になることがあります。CIMC のリセットは、通常のサーバメンテナンスには含まれません。CIMC をリセットすると、CIMC はブレードサーバの管理コントローラを再起動します。

### 手順

ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。

ステップ 2 [機器] > [ラックマウント] > [サーバ] を展開します。

(注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)] > [ラックマウント (Rack Mounts)] > [エンクロージャ (Enclosures)] > [ラック エンクロージャ *rack\_enclosure\_number* (Rack Enclosure *rack\_enclosure\_number*)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。

ステップ 3 CIMC をリセットするサーバを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域の [Recover Server] をクリックします。

ステップ 6 [Recover Server] ダイアログボックスで、[Reset CIMC (Server Controller)] をクリックし、[OK] をクリックします。

## ラックマウント サーバの TPM のクリア

TPM がサポートされている Cisco UCS M4 以降のブレードサーバおよびラックマウントサーバでのみ、TPM をクリアできます。



**Caution** TPM のクリアは危険性のある操作です。OS が起動を停止することがあります。また、データを損失する可能性もあります。

### Before you begin

TPM が有効である必要があります。

## Procedure

---

ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。

ステップ 2 [機器] > [ラックマウント] > [サーバ] を展開します。

**Note** Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)] > [ラックマウント (Rack Mounts)] > [エンクロージャ (Enclosures)] > [ラック エンクロージャ *rack\_enclosure\_number* (Rack Enclosure *rack\_enclosure\_number*)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。

ステップ 3 TPM をクリアするサーバを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域の [Recover Server] をクリックします。

ステップ 6 [Recover Server] ダイアログボックスで、[Clear TPM] をクリックし、[OK] をクリックします。

---

# ラックマウント サーバからの NMI の発行

システムの無応答状態が続き、Cisco UCS Manager によって IMC から BIOS またはオペレーティングシステムに NMI (マスク不能割り込み) を発行する必要がある場合には、次の手順を実行します。このアクションにより、サーバにインストールされているオペレーティングシステムに応じて、コア ダンプまたはスタック トレースが作成されます。

## 手順

---

ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。

ステップ 2 [機器] > [ラックマウント] > [サーバ] を展開します。

(注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)] > [ラックマウント (Rack Mounts)] > [エンクロージャ (Enclosures)] > [ラック エンクロージャ *rack\_enclosure\_number* (Rack Enclosure *rack\_enclosure\_number*)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。

ステップ 3 NMI を発行するサーバを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域の [Server Maintenance] をクリックします。

ステップ 6 [Maintenance] ダイアログボックスで [Diagnostic Interrupt] をクリックし、[OK] をクリックします。

Cisco UCS Manager BIOS またはオペレーティングシステムに NMI を送信します。

---

# ラックマウント サーバのヘルスイベントの表示

## 手順

**ステップ 1** [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。

**ステップ 2** [機器] > [ラックマウント] > [サーバ] を展開します。

(注) Cisco UCS C125 M5 サーバ では、[機器 (Equipment)] > [ラックマウント (Rack Mounts)] > [エンクロージャ (Enclosures)] > [ラック エンクロージャ *rack\_enclosure\_number* (Rack Enclosure *rack\_enclosure\_number*)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。

**ステップ 3** ヘルスイベントを表示するサーバを選択します。

**ステップ 4** [Work] ペインで、[Health] タブをクリックします。

このサーバでトリガーされたヘルスイベントが表示されます。このタブのフィールドは次のとおりです。

名前	説明
[Health Summary] 領域	
[Health Qualifier] フィールド	コンポーネントに対してトリガーされるすべてのヘルスイベントのカンマ区切りの名前。
[Health Severity] フィールド	コンポーネントに対してトリガーされるすべてのステータスイベントの最高シビラティ (重大度)。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>critical</b></li> <li>• <b>major</b></li> <li>• <b>minor</b></li> <li>• <b>warning</b></li> <li>• <b>info</b></li> <li>• <b>cleared</b></li> </ul> <p>(注) シビラティ (重大度) レベルが最高のもから順に記載されています。</p>
[Health Details] 領域	

名前	説明
[Severity] カラム	ヘルス イベントのシビラティ（重大度）。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>critical</b></li> <li>• <b>major</b></li> <li>• <b>minor</b></li> <li>• <b>warning</b></li> <li>• <b>info</b></li> <li>• <b>cleared</b></li> </ul> <p>(注) シビラティ（重大度）レベルが最高のもから順に記載されています。</p>
[Name] カラム	ヘルス イベントの名前。
[Description] カラム	ヘルス イベントの詳細。
[Value] カラム	ヘルス イベントの現在の値。
[Details] 領域	[Details] 領域には、[Health Details] 領域で選択するヘルス イベントの [Name]、[Description]、[Severity] および [Value] の詳細が表示されます。

## ラックマウントサーバの POST 結果の表示

サーバとそのアダプタに対する Power On Self-Test プロセスで収集された任意のエラーを表示できます。

### 手順

**ステップ 1** [ナビゲーション]ペインで、[機器]をクリックします。

**ステップ 2** [機器]>[ラックマウント]>[サーバ]を展開します。

(注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)]>[ラックマウント (Rack Mounts)]>[エンクロージャ (Enclosures)]>[ラック エンクロージャ *rack\_enclosure\_number* (Rack Enclosure *rack\_enclosure\_number*)]>[サーバ (Servers)]の順に展開します。

ステップ3 POSTの結果を表示するサーバを選択します。

ステップ4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ5 [Actions] 領域で [View POST Results] をクリックします。

[POST Results] ダイアログボックスに、サーバとそのアダプタに対する POST の結果が一覧表示されます。

ステップ6 (任意) アダプタのプロパティを表示するには、[Affected Object] カラムをクリックします。

ステップ7 [OK] をクリックして [POST Results] ダイアログボックスを閉じます。

---

## Power Transition Log の表示

**Power Transition Log** を確認できます。このログには、最後の5つのサーバの電力遷移が表示されます。表示される情報には、[Power Change Source] や [Timestamp] があります。

一意の電力遷移イベントだけが表示されます。UCSMにより開始された電力遷移の場合、電力遷移を引き起こした FSM が表示されます。

### 手順

---

ステップ1 [Equipment] > [Rack-Mounts] > [Servers] を選択します。

ステップ2 Power Transition Log を表示するサーバを選択します。

[General] タブに [Power Transition Log] が表示されます。

---

## Cisco UCS C125 M5 サーバスロット ID の表示

### 手順

---

ステップ1 [ナビゲーション] ペインで、[機器] をクリックします。

ステップ2 [Equipment] > [Rack Mounts] > [Enclosures] > [Rack Enclosure][*rack\_enclosure\_number*] の順に展開します。

ステップ3 [Work] ペインで、[Slots] タブをクリックします。

---



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。